



# うるま市の文化財 シリーズ④

## 仲原遺跡



伊計島の中央部よりやや西側にある、縄文時代晩期(沖縄貝塚時代中期・約2500~2000年前)の集落跡。石器が比較的豊富に出土しており、特に石斧は保存状態の良いものが多数あります。石灰岩で縁取りされた竪穴住居、石灰岩の上に粘土でつくられた遺構や墓などが発見され、当時の集落の規模や構成、住居の配置や構造を知る貴重な遺跡です。

## 伊波貝塚



石川伊波区の石灰岩丘陵下に形成された、縄文時代後期(沖縄貝塚時代前期・約3500年~2500年前)の遺跡です。大正9年(1920年)大山柏氏によって発掘、調査されました。この貝塚からは、大量の土器・石器・骨・貝製品が見つかっています。学史的、学術的にも大変貴重で、伊波式土器の標識遺跡となっています。

文化課 ☎978-7245

# 羽ばたけ!! スポーツ少年団



## 勝連クラブ

勝連クラブは、浦崎隆監督、吉田邦秋、屋良均両コーチをはじめ、保護者協力のもと、メンバー30名で構成。「失敗を恐れず、自分達のバレーを楽しむ」をモットーに、勝連小学校体育館を拠点に一生懸命練習に励んでいます。

選手一人ひとりの個性が強く、笑顔の絶えないチームで、ここぞという時のチームワークは抜群です。また、優勝経験はありませんが、第28回全日本バレーボール小学生大会では、優勝チームの下部クラブと互角に戦った試合はとても印象的です。その試合での経験が子どもたちに自信を与え、その後の第28回新報児童オリンピック大会では、見事ベスト8に入りました。目標は、もちろんどの大会でも優勝に輝くこと!

監督や父母は、バレーボールを通して感謝の心や仲間を思いやる心を学び、元気で明るく成長するように、日々頑張る子どもたちを見守っています。



## 中部少林流至道館

平成11年(當銘由親館長・当時)に少年団に加入し、現在、當銘由雄館長、富濱康徳、具志川光彦、下地和彦コーチのもと、空手を中心に、まつり等での演舞披露やスポーツ少年団主催の駅伝大会、新春トリムマラソンなど、各イベントに積極的に参加しています。凡事徹底、心技体、挨拶、決まりを守り目的を持って行動することがチームのモットーです。個々の力は微力でも、大会や演舞会では素晴らしく輝くチームです。

これまで、新報児童オリンピック空手道大会で団体、5~6年個人の部優勝、沖縄県空手古武道連盟少年少女空手道大会最優秀賞を受賞するなど、輝かしい成績を収めています。目標は、すべての空手道大会、演舞会において、今まで以上の優秀な成績を収めること。指導者や父母は、今何をすればいいのか、自分で進んで考えて、行動できる子どもたちになってほしい、又、生涯スポーツとしてずっと空手を続けてほしいと願っています。